

令和6（2024）年5月23日

東京都知事 小池 百合子 様

東京都議会立憲民主党  
幹事長 西沢 けいた



## 新たな葛西臨海水族園整備に関する要請書

新たな葛西臨海水族園整備事業においては、老朽化している現施設の除却や新たな施設の整備を進める上で現状、多くの樹木が移植、伐採される計画となっています。

一方で、景観上の調和が図られた現施設の一部が保存されるなど、設計者や都民の意見が反映されることとなっており、引き続き都民に親しまれる水族園となるよう希望いたします。

そこで、都民に長く利用されてきた葛西臨海水族園が新たに整備されるにあたって、以下を要望させていただきます。

- ・整備事業においては、環境への配慮を最大限行うべきであり、2030年カーボンハーフ、2050年までのカーボンニュートラルの達成のためにも、温室効果ガスの排出量の削減ならびに吸収作用のある樹木の保全及び強化を行う必要があります。吸収作用の保全及び強化の点からしても、樹木の伐採は可能な限り、削減すべきであると考えます。
- ・新施設の整備事業において、既存樹木への影響を最大限減らすとともに、樹木の移植、保全を行うべきと考えます。また、水辺の自然エリア一帯の樹木の保全を行うべきです。整備事業で使用するエリアや工事車両が通行するルートなどを検討するなかで、移植でなく、さらに樹木を保全するという選択肢をとるべきであると考えます。

これらの点について、東京都として、都民からの新たな葛西臨海水族園に対しての諸意見を踏まえ、樹木の伐採を最大限行わないように、整備事業における配慮をしていただくよう、要望いたします。

以上